





1	現状の課題	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	<b>P3</b>
2	システム導入の目的	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P4
3	期待する効果	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P5
4	システム化の方針	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P6
<b>5</b>	システム概要図	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	<b>P7</b>
6	要求機能一覧	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P8
7	導入スケジュール(案)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P9
8	予算(案)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P10

図書管理システム

### 現状の課題として

### コロナによって いつ自宅学習になるかわからない不安

が、あげられる。

#### 訓練生側



- ・学習が途中で止まった。
- ・いつから始まるの?
- ・期間は延長される?

### センター側



- ・訓練生への案内
- ・自宅学習中の内容が不明
- ・学習スケジュールのズレ

# システム導入の目的

国立職業リハビリテーションセンター図書管理システム

### コロナによっていつ自宅学習になるかわからない不安

コロナがどうなるかを待つより、

# 自宅学習になっても学習に影響を与えない環境構築

2020/11/19 © 2020 Kawaguchi Hiroshi 4



### 自宅学習になっても学習に 影響を与えない環境構築

現状、書籍による学習方法がメインであるため 自宅でもセンターにいるのと同様に効率よく書籍が 選択、検索、貸出 できる

# 図書管理システム





## 期待する効果

国立職業リハビリテーションセンター図書管理システム

### 自宅学習になっても学習に影響を与えない環境構築

### 的確な方向性

訓練生が現状 何の学習をしているか 把握できる



### 学習の継続

学習中の本が終わっても 次の計画が立てられる



図書管理システム



### 自宅学習中の

適切な書類作成

ョモ字智中の 学習内容が 把握できる



教務課

書籍の行方が明確

WEBの科でも システムの 本をかりたい

#### 他の科の指導員

### 効率の良い指導

自宅学習中の質問が どの本についての 質問かわかる



自宅学習になっても安心

2020/11/19 © 2020 Kawaguchi Hiroshi 6